

# 平成 26 年度 生産実習成果報告書

実習生 建築工学科 3年 24080 今 夏紀  
自習先名称 鹿島建設株式会社  
東洋大学白山第2キャンパス京北中学校・高等学校建設工事事務所  
実習期間 平成26年8月18日(月) ~ 8月29日(金) [10日間]

## 1. 実習の目的及びテーマ

施工管理に対する理解を深めるため。  
そして、実習のことはもちろんだが就職活動、社会人、建築施工職等々、いろいろなことを吸収し将来に活かすため。

## 2. 実習内容

### 2-1. 施工管理の仕事

#### (a) コンクリート数量拾い

コンクリートを打設するのに必要なコンクリート数量を拾い出しを行った。柱、梁、スラブ、壁を一枚の図面に表した「見上げ図」を見ながら拾い出した。平面図上では立体にした時をイメージしづらいため実際に現場に行つてどのくらいなのかを確認しにいった。

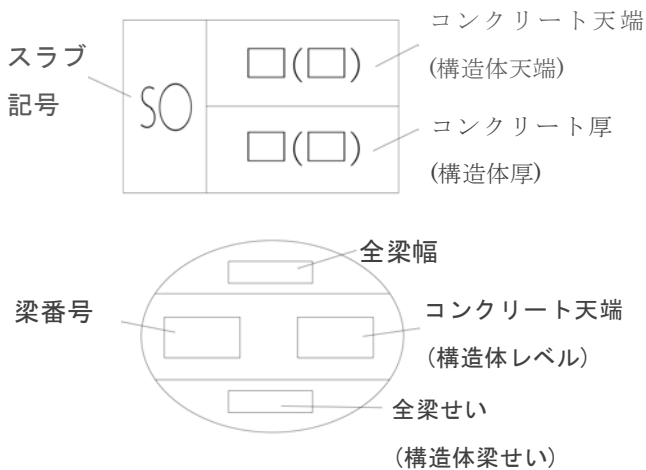


図1 躯体図の見方

#### (b) 鉄骨工事

鉄骨工事の現場を確認しに行った。

#### (c) 配筋検査

コンクリート打設前に配筋検査を行う。監理配筋検査に同行した。

コンクリート打設前に配筋検査を行わなければならない。それは、建物の耐久性や強度に影響するためである。コンクリートを打設した後からだと見えなくなるためである。

#### (d) 産業廃棄物

産業廃棄物のごみ置き場を見学した。全部で14種類に細かく分けられている。乾いたダンボールは再利用されるが、濡れたダンボールは再利用することができない。そして、スタyroフォームでも木枠がついている物とついていない物で分けられていた。

#### (e) 施工図

意匠図、構造図、設備図の図面があるがその図面は具体的な情報が少ないため工事を進めることができない。施工図は設計図の不十分なところを補い、検討し、実際の工事ができる様に設計図を書き改めた図面である。

### 2-2. 豊山インターンシップ

護国寺の日大豊山の学校の建設現場のインターンシップに参加した。東洋大学第2キャンパスの現場と比較すると敷地が日大豊山のほうが狭く敷地全体に建設予定で、11階建てのビルのような学校だった。車の出入りをする箇所が少なく一度に来ることができる車の台数が限られるそうだ。

このキャンパスは、二階からアクセスして生徒玄関に行く。地下に体育館、屋上に屋外テニスコートや、柔道場などがあつた。4, 7階の真ん中にエスカレーターがあり、吹き抜けになっており、天窗がついており自然の光が入るようになっていた。



写真1. タワークレーンの頂上にて

屋上にある、タワークレーンに登らせてもらった。操作室やトイレをみる事ができた。

### 2-3. 東京建築支店、KIビル見学

赤坂に行き、鹿島建設株式会社東京建築支店、KIビルを見学しに行った。各階で部署が分かれており、個人の机と会議スペースの空間があり、パソコンで作業していたり、会議が行われていた。

### 2-4. 中間処理施設見学

産業廃棄物の中間処理施設であるワイエム興業株式会社を見学しに行った。草加リサイクルセンターと新砂リサイクルセンターの二つあるのだが、新砂リサイクルセンターの方に見学しに行った。

ワイエム興業は建設現場で発生するあらゆる廃棄物処理を、高いレベルで行えるシステムの構築とその実践を推進している。収集運搬された後の処理工程を実際にみる事ができた。意外と人の手で行われているところが多かった。

## 3. 実習の成果

この2週間を通して学んだことは、

- ・現場の安全はすべての作業に対して優先するべきだということ。KY活動を確実に実施することが大切だということがわかった。
- ・現場作業員とのコミュニケーションを大切にしなければいけないと感じた。



写真3. ワイエム興業 中間処理施設

・現場の状況を判断し、明確に意思表示のできるようにならなければいけないと思った。

そのために、例えば、配筋のことやコンクリートの性質をきちんと理解しておかなければいけないと感じた。

## 4. 感想

最初は、不安だったが次第に緊張が解け積極的に実習に取り組むことができた。

このインターンシップを機会に、施工管理という仕事に興味を持ち、とてもやりがいのある仕事だと感じ、この仕事を目指したいと思った。

現場だけではなく、様々なところに連れて行ってくださり、貴重な経験ができたと思う。そして、職員の皆様から沢山のお話を聞くことができ勉強になった。

## 謝辞

今回、実際の企業の現場の実習という貴重な機会を与えてくださり、職員の皆様に感謝致します。また、ご多忙中、貴重な時間を割いてくださり親切に面倒をみてくださった担当の職員の方々に深く感謝いたします。学内の実習では得ることのできなかつたこの経験を、今後の就職活動や学習に役立てていきたいと思いません。本当にありがとうございました。

## 参考文献

- ・建築携帯ブック 配筋 / 井上書院
- ・建築携帯ブック コンクリート / 井上書院